

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国 際 ト ラ ベ ル ・ ホ テ ル ・ ブ ラ イ ダ ル 専 門 学 校	平成5年3月25日	瀧 潤 一 郎	〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿2-11-12 (電話) 043-242-0468			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中 村 洋 子	〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467			
目 的	働きながらも向上心を持つ者に対し、教育の場を提供する。さらに企業実習・社会体験を授業カリキュラムの一環とすることにより、専門技術と知識及びホスピタリティマインドを習得させ、専門士の称号を与えるに十分な人材を育成する。					
分 野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授 業時数又は総 単位数	専門士の付 与	高度専門士の付与
商業実 務	商業実 務専門 課程	デュアル科 (トラベル コース)	2年(夜)	1,753時間 (121単位)	平成25年文 部科学省告 示第2号	—
教 育 課 程	講 義	演 習	実 験	実 習	実 技	
	57単位	0単位	0単位時間 (又は単位)	64単位	0単位	
生 徒 総 定 員	生 徒 実 員	専 任 教 員 数	兼 任 教 員 数	総 教 員 数		
20人	15人	2人	16人	18人		
学 期 制 度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成 績 評 価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 出席率、授業態度、試験		
長 期 休 み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月26日～1月5日 ■学 年 末：3月21日～3月31日		卒 業 ・ 進 級 条 件	卒業・進級基準単位の取得		
生 徒 指 導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談、カウンセラーの紹介		課 外 活 動	■課外活動の種類 中村学園3校の学生が、自主活動により各種イベント、クラブ活動、ボランティア活動を行っている ■サークル活動 (有・無)		
主 な 就 職 先	■主な就職先、業界 旅行、空港、航空、ホテル ■就職率 100%		主 な 資 格 ・ 検 定	国内旅行業務取扱管理者 実用英語技能検定 レストランサービス技能検定		
中 途 退 学 の 現 状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% ※1名減員はホテル科夜間部へコース変更 平成24年4月1日在学者 13名 (平成24年4月入学者を含む) 平成25年3月31日在学者 12名 (平成25年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲興味喪失、家庭学外環境 ■中退防止のための取組 担任個人面談、要注意学生観察と社内情報共有、保護者説明会、初年時教育の充実等					

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

・当学科(デュアル科)の科目編成は主に、①必修科目(共通必修科目、専門必修科目)と②選択科目から成り立っており、卒業後、旅行会社、ホテル、空港関連企業などの観光業界において、即戦力として活躍できる実務実践教育をカリキュラムに取り入れている。科目問わず、就職先企業からの情報収集やアドバイスを踏まえカリキュラムに反映し、また一部の授業については企業派遣で運営をしている。

・教育課程の編成において、厚生労働省・文部科学省が推進する若者の自立・支援事業として行う、実務教育・産学連携人材システム(日本版デュアルシステム)を取り入れ、企業実習(OJT)をカリキュラム構成の重要要素と位置付け、夜間部授業カリキュラムの一環として実施している。

・企業実習については実習中の心構え、日常生活の注意点などの事前指導から始まり、実習中は「実習手帳」に日々の業務日報を記録、終了後は自己評価とともに企業からの評価を受ける。学校、学生そして企業の連携により、よりよい人材育成とカリキュラムへの検討に繋げる。

・専門的技術と知識の習得及びホスピタリティマインドの醸成をもって専門士の称号を与えるに十分な人材育成を目指している。

・年2回の講師会議において企業また企業からの派遣講師を招き、情報収集を行っている。また授業担当者とのカリキュラム検討を随時実施しており、業界動向や求める人材像の把握に努めている。

・本年度より発足された「教育課程編成委員会」において定期的な評価、改善を図っていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年12月15日現在

名 前	所 属
瀧 潤一郎	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
千葉 山	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
寺田 宗則	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
鈴木 眞雄	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマレ
橋本 喜則	ヒルトン東京ベイ
佐川 知弘	一般社団法人 日本旅行業協会 関東支部 千葉県地区委員会 委員長
	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店
石井 光彦	株式会社旅行綜研
酒井 大之	東日観光株式会社船橋支店
只隈 修一	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店

(開催日時)

第1回 平成25年12月20日 13:30~14:20

第2回 平成26年2月12日 13:30~14:20

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

・企業実習は、厚生労働省・文部科学省が推進する若者の自立・支援事業として行う、実務教育・産学連携人材システム(日本版デュアルシステム)の企業実習(OJT)を当校が設置する夜間部授業カリキュラムの一環として実施し、専門的技術と知識の習得及びホスピタリティマインドの醸成をもって専門士の称号を与えるに十分な人材育成を目的としている。

・「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」の教育理念に基づき、ビジネス教養、専門分野の授業の一部を企業と連携し、契約した企業からの派遣講師により実施している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
実習	観光業界(ホテル、ブライダル、旅行会社、鉄道、空港等)の実務の現場で、実地体験を積み重ねる中で、業務内容のより一層の理解と体得をふまえ、将来の職業モラルの育成を図っていくという目的で全学生に対し企業実習を義務	ヒルトン東京ベイ、オリエンタルホテル東京ベイ、ホテルイースト21、ホテルニューオータニ幕張、(株)ジャッツ、(株)エアサーブ、ワールドエンタプライズ(株)、(株)FMG、(株)

	付けております。	JTB ビジネストラベルソリューションズ、(株)旅行綜研
電話応対実技	電話はビジネスには欠かせないツールであり、企業の窓口です。感じよい電話応対はどのような職業に就いたとしても、あなたの武器になります。基本である心構え・受け方・かけ方・取次・伝言のしかた、応対スキル（発声・発音・敬語・応対用語・電話における個人情報保護）を学びます。	(株)ソフト・サービス・カンパニー
社会の仕組みⅠ・Ⅱ	私達は多くの人と関わりながら社会生活を送ります。スムーズに活動していくためには、お互いが思いやりを持ち、協力し合うことが必要でしょう。授業で、マナーにおける作法は、思いやりの気持ちを相手に伝えるための‘手段’です。授業ではマナーの必要性を理解しながら基本を中心に学び、スキル向上を目指します。そして自分達を取り巻く環境も踏まえながら、自分なりの目標を持って取り組むことも大切な目的です。	(有)キャリアステージ
フレッシューズセミナー	将来の目標は何か、そのためには何をすればいいのか、自分と向き合いながら授業を進めていきます。そして演習では、グループワークや発表を多く取り入れて、より実践的なスキル目指します。それにより、自主的に行動することや責任をもって自分の役割を果たす意を養います社会人として、自信をもってスタートを切れるように準備をしていきましょう。	(有)キャリアステージ
TOEIC	目標：TOEIC 試験において 500 点以上を目指す。 対策：リスニング：効果的なリスニングの方法を学び実践/ シャドーイングの要領・リーディング：語彙力、イディオムの増強、文法力の向上	(株)TEI
手話講座Ⅰ・Ⅱ	サービス業において、障害者のお客様と接する機会は多いと思います。どのようなお客様にも均等にサービスが出来るようバリアフリーの授業とともに、この授業では聴覚障害・聴覚障害者への理解と認識を深めると共に簡単な手話表現が出来る技術を習得する。	社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(1) 学園研修

- ①ファシリテーションスキルを学び日常業務に活用して、クラス運営、授業運営等に役立てる。
- ②組織力強化につながるコミュニケーションスキルを改善して、目標管理（MBO）を活用した部下育成力を高める。

(2) 学校研修

当校の教育方針において「ホスピタリティ」「臨機応変」「国際感覚」「即戦力」「挑戦」の5項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の実務の場で即戦力として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主として、業界の歴史や話題性を掴んだ内容を追及している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 12 月 20 日現在

名 前	所 属
瀧 潤一郎	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
鈴木 眞雄	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラレ
橋本 喜則	ヒルトン東京ベイ
佐川 知弘	一般社団法人 日本旅行業協会 関東支部 千葉県地区委員会 委員長
	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店
石井 光彦	株式会社旅行綜研
酒井 大之	東日観光株式会社船橋支店
只隈 修一	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ithb.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ithb.ac.jp/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デュアル科トラベルコース) 平成 25 年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ホスピタリティ I・II	相手の立場になり物事を考える力、人を大切にできる力が「ホスピタリティ」です。他者と関わる限り、「ホスピタリティマインド」は必ず必要なヒューマンスキル。自己理解、他者理解、そして相手、社会と関わるためには「お互いにOK」であるという態度がベストであることに気づき、自主的に行動できるようにしていきます。ロールプレイングや具体的な身近な事例を多く交えて分かりやすく進めていきます。	1 通	30	2	○	△	

○		社会の常識 I・II	私達は多くの人と関わりながら社会生活を送ります。スムーズに活動していくためには、お互いが思いやりを持ち、協力し合うことが必要でしょう。授業で、マナーにおける作法は、思いやりの気持ちを相手に伝えるための‘手段’です。授業ではマナーの必要性を理解しながら基本を中心に学び、スキル向上を目指します。そして自分達を取り巻く環境も踏まえながら、自分なりの目標を持って取り組むことも大切な目的です。	1通	30	2	○	△	
○		パソコン I・II III・IV	現代の企業では、パソコンが使えて当たり前とみなされる時代です。パソコンの基本的な知識や操作に始まり、就職活動や実践で役立つインターネットの活用、文書作成ソフトを使用した基本的なビジネス文書作成、表計算ソフトを使用した表やグラフの作成を行います。就職活動や実践で役立つインターネットの活用、文書作成ソフトを使用した実践的なビジネス文書作成、応用、表計算ソフトを使用したデータベースの活用、画像加工、プレゼンテーションソフトの基礎・応用など、皆さんのICTリテラシーとソフト活用のスキルの向上を目指し、社会生活における即戦力としてのスキル向上を目的とします。	2通	60	4	○	△	
○		業界ガイド	旅行業界や空港で働きたいと希望している皆さんに対して、どのような仕事があるのか？どのような会社があるのか？またその現状について出来るだけ多くの事を学んでいきます。	1前	15	1	○	△	
○		就職ガイド I・II	就職活動を始める準備として、“伝えたい自分”を明確にする作業を行なう。自身の「過去、現在、未来」を見つめ、自分なりの価値観などを知るとともに、これからどのような進路に進みたいかを考えながら、「自己分析」「業界・業種・企業研究」を行なう。また、適宜筆記試験も行ないます。求人情報の案内と解説を行い、各求人企業への受験準備をサポートする。また1年生次から進めてきた自己分析を自己PRとして完成させ更に、志望する業界・職種・企業に対する志望動機を仕上げていく。就職試験本番を迎え、個々の進行プロセスに応じた就職活動をバックアップする。	1後 ・ 2前	60	4	○	△	

○		セルフコーチング	学生の方々の直近の目標は、就職の内定を勝ち取る事だと思います。就活を成功する鍵は2つです。雇用されるための能力があること。そして、もう一つは、その能力があると採用側にパフォーマンスする力（表現力）です。この表現する力は、メンタルの力と大きく関わってきます。セルフコーチングの授業では、表現力を養うメンタルの鍛え方と、就活を成功させるために必要な様々な実践的な指導をしていきます。	1通	30	2	○	△	
○		バリアフリー	高齢者や障害に対して学習し、疑似体験をしていく。体験を取り入れることで、少しでも「気づき」が生まれ自ら考えられるようになる事を目指していく。バリアフリーの観点に立ち、世の中にある色々なバリアについて考えていく。※「サービス介助士2級検定」の取得を視野にいれて授業運営していくが、検定対策ではないので、教科書は使わずに疑似体験やディスカッションを重視して行う。	1前	15	1	○		△
○		手話講座 I・II	サービス業において、障害者のお客様と接する機会は多いと思います。どのようなお客様にも均等にサービスが出来るようバリアフリーの授業とともに、この授業では聴覚障害・聴覚障害者への理解と認識を深めると共に簡単な手話表現が出来る技術を習得する。	2通	30	2	○	△	
	○	ワードエアーチケット	お客様に国際航空券を発券したり、添乗員としてお客様の国際航空券を預かったり、成田空港でお客様の搭乗手続きのお手伝いをしたり、旅行業界ではさまざまな場面で国際航空券（ワールドエアチケット）を取り扱います。当講座は ① 航空業界全般の動き ② 国際航空約款 ③ 国際線チケット（航空券）の種類 ④ 主要エアラインの2レターを習得することを目標とします。 また羽田空港国際線拡張や格安航空会社（LCC）の進出など、話題に事欠かない航空業界の現状についても、当講座の主要テーマとして扱います。	2前	15	1	○	△	

○		電話対応実技	電話はビジネスには欠かせないツールであり、企業の窓口です。感じよい電話対応はどのような職業に就いたとしても、あなたの武器になります。基本である心構え・受け方・かけ方・取次・伝言のしかた、対応スキル（発声・発音・敬語・対応用語・電話における個人情報保護）を学びます。模擬電話機を使って、ロールプレイングを多く取り入れ、「電話対応は任せて」といえるように、実践重視の授業です。	2 後	15	1	○	△	
	○	国際旅行実務	海外旅行実務全般について概略を学び、特に業界にとって必要な航空時刻表の見方、ヨーロッパを中心とした鉄道時刻表の読み方、時差の計算方法、ホテルの知識等各種知識を幅広く習得する授業です。	2 後	15	1	○	△	
○		フレッシュャーズセミナー	将来の目標は何か、そのためには何をすればいいのか、自分と向き合いながら授業を進めていきます。そして演習では、グループワークや発表を多く取り入れて、より実践的なスキル目指します。それにより、自主的に行動することや責任をもって自分の役割を果たす意を養います社会人として、自信をもってスタートを切れるように準備をしていきましょう。	2 後	15	1	○	△	
	○	旅行業法・約款	「旅行業法」「旅行業約款」は国家試験である国内旅行業務取扱管理者試験（9月実施）そして、総合旅行業務取扱管理者試験（10月実施）における重要科目として位置づけられています。従って、この授業は国家試験対策として前期に学習します。「旅行業法」は旅行会社とお客様とのトラブルがないよう国と旅行会社の間に定められた『法律』です。具体例と共に“旅行業界のルール”を楽しく学習し、9月の国家試験での合格を勝ち取りましょう。	1 前	30	2	○	△	
	○	国内旅行実務地理 I・II	総合・国内旅行業務取扱管理者試験対策として、温泉、自然景観はテキストを中心に、歴史的建造物に関してはプリントを利用して不足分を補う他、祭事や郷土料理、文学作品の舞台などについても学習していきます。旅行パンフレット等を題材にし、実際の行程表に沿って形で実戦的な観光地理を学習し、白地図を作成しながら、観光地についての学習はもちろん、道路状況や味覚、名旅館などについても学習していきます。	1 通	60	4	○	△	

○	国内運賃・料金	JRおよびその他の国内運賃料金のシステムについて実務者として必要な能力を養うとともに総合・国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる知識・技術を身に付け、試験対策としていきます。	1 前	30	2	○	△
○	トラベル英会話 I・II III・IV	旅行業務に必要な英会話に、焦点を当てて学びます。まずは、基本の用語や表現を学び、その後「海外添乗業務を行う」「海外の旅客を迎える」などの立場を想定し、場面別の会話を学びます。基本的なコミュニケーションが取れるようになることを目的とします。今まで英語が苦手だった方も、苦手意識を克服していきましょう。旅行業務に必要な英会話に焦点を当てて学びます。基本の用語や表現を学び、「海外添乗業務を行う」「海外の旅客を迎える」などのさまざまな場面で、基本的なコミュニケーションが取れるようになることを目的とします。今まで英語が苦手だった方も、苦手意識を克服していきましょう。なお、1年次履修の内容の習得状況によって履修内容が変更になる場合があります。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△
○	海外旅行実務地理 I・II・III	この授業では、日本人に人気の高いディステーションについて、地勢・観光資源・グルメ情報や祭・おみやげなど、幅広く学習します。まずはアジアから始めましょう。その他の地域については、次年度に学習します。この授業では、国・都市・観光ポイントの所在位置を習得するために白地図を活用します（授業内で配布）1年の後期に引き続き、世界の主要国・主要都市について学びます。また、随時復習をしつつ地理の基本知識を定着させます。前期はオセアニア・中南米・中心に地勢・観光資源・歴史・食文化・民族などを学びます。後期は前期に引き続き世界の主要国・主要都市を学習します。ヨーロッパを中心に概要、みどころ等について触れます。	1 後 ・ 2 通	15	1	○	△

	○	時刻表実務 I・II	旅行業に従事する者にとって必要不可欠な時刻表の基本的な使用方法を習得し、これを基礎として実務者レベルの技術の獲得を図っていきます。授業は練習問題等のプリントを利用し演習形式で進めていきます。前年に学習したJ R時刻表の基本的な使用方の学習・訓練を基礎として更なる技術の向上を図り、実践的で即戦力になり得る能力を身につけていきます。	1 後 ・ 2 前	30	2	○	△	
	○	アマデウス I・II	航空・旅行業界の予約手配において、先進のIT技術は欠かせません。中でも、アマデウスはGDS(Global Distribution System)と呼ばれ、全世界の旅行会社にとって、航空券やホテルなどの旅行素材を手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験に挑戦し資格取得を目標としてください。(アマデウスシステム検定試験 2014年10月実施予定)	1 後 ・ 2 前	30	2	○	△	
	○	観光英語 検定対策	観光英語 (Tourism English) とは、観光業に携わるものが習得すべき英語であり、そのための観光英語検定試験が国土交通省の推奨で毎年10月に行われている。観光業に携わる業種は、旅行代理店、観光地(名所旧跡、世界遺産等)、運送業(飛行機、バス、鉄道、船等)、宿泊施設(ホテル、旅館、ユースホステル等)など多岐にわたる。目的として、観光英語特有の専門用語、表現を学び、観光英語検定3級以上の合格の実力を養う。	2 前	15	1	○	△	
○		国内旅行実務	海外旅行実務全般について概略を学び、特に業界にとって必要な航空時刻表の見方、ヨーロッパを中心とした鉄道時刻表の読み方、時差の計算方法、ホテルの知識等各種知識を幅広く習得する授業です。	2 前	15	1	○	△	

	○	国内添乗業務	旅行業の一連の流れにおいて、その仕上げともいえる添乗業務は、欠くことのできないプロフェッショナルな部門です。添乗業務と一口に言っても、接客接遇等の、いわゆる「心」の部分と、旅程の管理という、いわゆる「知識・技術」の部分に大別されます。この科目では、『入門編』として、添乗業務の心構えやおおまかな流れ、基本的な業務内容について、広く浅く学びます。講師は、国内海外の旅行を扱う現役添乗員です。体験談を交えながらお話しします。	2 前	15	1	○	△	
	○	世界遺産探訪	「世界遺産」－1972年に採択されたユネスコの「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（通称：世界遺産条約）の中で登場した言葉である。現在日本の「世界遺産」は16件（文化遺産12件、自然遺産4件）登録されていますが、実は世界では何と800を超える世界遺産が登録されています。授業ではヨーロッパ、アメリカの代表的な世界遺産を映像を通して紹介し、地球の知られざる歴史を旅します。	2 後	15	1	○	△	
	○	国内ツアー プランニング 実務	時刻表・地図帳・ロードマップ・料金表（タリフ）など様々な資料を活用して、行程表・見積書・原価計算書の作成を実践学習していきます。	2 後	15	1	○	△	
	○	海外ツアー プランニング	この講座では、あなたがこの2年間授業で学んだことの集大成として、あなた自身に海外のツアーをプランしていただきます。海外地理の知識はもちろんのこと、出入国手続や、空港の知識、フライトの快適さ、はてまた世界の食の知識まで、あなたの知りうる全ての知識を総動員して、作成していただきます。作成に当たっては、講師よりツアーのテーマ、予算、その他の条件が与えられ、その条件に従って作成し、それをクラスメートの前で発表（プレゼンテーション）します。	2 後	30	2	○	△	
	○	実用英語検定 対策3級	「英語検定3級」取得を目指します。合格のコツに重点を置きテスト慣れすることを目標にします。単語、熟語、会話文を毎回のテストという形で引き続き学びます。3級合格のテクニックを自分のものにし、リスニングにも力を入れていきます。積極的に取り組む姿勢で学んで下さい。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	

		○	実用英語検定 対策準2級	実用英語を身につける効果的な手段である英検準2級の合格を目指します。予想問題ドリルを中心に、頻出単語・熟語・文法・読解・会話表現を学習します。毎回リスニングの時間もとり、試験対策を進めていきます。	1通 ・ 2通	60	4	○	△	
		○	TOEIC	目標：TOEIC 試験において500点以上を目指す。 対策：リスニング：効果的なリスニングの方法を 学び実践/ シャドーイングの要領・リーディング：語彙力、イディオムの増強、文法力の向上	1通 ・ 2通	60	4	○	△	
		○	韓国語Ⅰ・Ⅱ	「韓国・韓国語とはどういうものか」からはじめ、日本語の語順で韓国語を運用していくテクニックを習得する。「誰がどうする」「何がどうだ」を主題とし、簡単な単文の構造で、日常からビジネスまでの表現を、暗記にたよらず自分の考えを、この言葉で言えるような学習の展開をする。	1通 ・ 2通	60	4	○	△	
		○	中国語Ⅰ・Ⅱ	この授業では、まず中国語の基本ー発音（ピンイン）からスタートする。ピンインを反復練習することで、中国語の発音を身につけ、簡単な日常会話を学習する。授業は「楽しい中国語」という主旨で、生徒の様子を見ながら授業を行う。会話で文法、単語を覚え、日中文化や生活習慣を比較しながら、中国語をより理解する。目標： 1、ピンインがあれば、文章を読める 2、単語を使って簡単な表現ができる 3、簡単な質問に答える（特に職場に使う言葉）	1通 ・ 2通	60	4	○	△	
		○	ビジネス能力 検定3級対策	「ビジネス能力検定 3級」取得を目指します。 新入社員として必要な基本的なビジネスマナー・知識を幅広く学習します。同時に、毎回過去の問題を抜粋し実際に問題を解くことで、テストに慣れてもらいます。検定合格のみにとどまらない、社会に役立つビジネスマナーを体得していきましょう。	1後	15	1	○	△	

		○	ビジネス能力 検定2級対策	「ビジネス能力検定 2級」取得を目指します。社会人として必要なビジネスの知識とスキルを総合的に学習します。組織の理解、業務の具体的な遂行など、実践的な知識を学び即戦力となるように、3級とは違った深い内容です。新聞問題は読解力、ケース問題は、社会人3年目くらいを想定した仕事力が問われます。毎回、講義+問題で社会人力をつけていきましょう。	2通	30	2	○	△	
		○	秘書検定 3級対策	秘書検定は、職務知識、一般知識、マナー知識などが必要とされます。また、これから社会人となるために必要な知識を身につけることにも役立ちます。このクラスでは、問題を解きながら自分自身を高めるべく社会常識を学び検定合格を目指します。	1後	15	1	○	△	
		○	秘書検定 2級対策	秘書検定は、職務知識、一般知識、マナー知識などが必要とされます。また、これから社会人になるために必要な知識を身につけることにも役立ちます。このクラスでは、問題を解きながら自分自身を高めるべく社会常識を学び検定合格を目指します。	2通	30	2	○	△	
		○	漢字検定対策	漢検は就職活動にも役立ち、非常に注目され、また、人気のある資格試験の一つです。しかし、日頃から適切な準備をしないと合格に結びつきません。学生時代に身につけた日本語の力が「社会人力」の基礎となります。社会人として、すぐに役立つ漢検資格取得に向け、半年間の授業で準備をします。漢字を学ぶ楽しさ、面白さを味わいながら、漢字力を身につけ、日本語力の向上を目指します。具体的には、日本漢字能力検定3級・準2級・2級の合格が目標です。授業は、参加型・実習重視で毎回、漢字テスト・演習プリントに取り組みます。	1後 ・ 2通	30	2	○	△	

		○	漢字検定対策	漢検は就職活動にも役立ち、非常に注目され、また人気のある資格試験の一つです。しかし、日頃から適切な準備をしないと合格に結びつきません。学生時代に身につけた日本語の力が「社会人力」の基礎となります。社会人として、すぐに役立つ漢検資格取得に向け、半年間の授業で準備をします。漢字を学ぶ楽しさ、面白さを味わいながら、漢字力を身につけ、日本語力の向上を目指します。具体的には、日本漢字能力検定3級・準2級・2級の合格が目標です。授業は、参加型・実習重視で毎回、漢字テスト・演習プリントに取り組みます。	1 後	15	1	○	△	
○			コミュニケーション	個人、クラスの具体的なアクションプランを作成し実行していく。個々のスキル、目標達成のためのPDCAサイクルの実践を主とする。	1 通 ・ 2 通	60	4	○		
○			実習	観光業界（ホテル、ブライダル、旅行会社、鉄道、空港等）の実務の現場で、実地体験を積み重ねる中で、業務内容のより一層の理解と体得をふまえ、将来の職業モラルの育成を図っていくという目的で全学生に対し企業実習を義務付けております。	1 通 ・ 2 通	898	64			○
合計				33 科目	1,753 時間 (121 単位)					

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国 際 ト ラ ベ ル ・ ホ テ ル ・ ブ ラ イ ダ ル 専 門 学 校	平成5年3月25日	瀧 潤 一 郎	〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿2-11-12 (電話) 043-242-0468			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中 村 洋 子	〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467			
目 的	働きながらも向上心を持つ者に対し、教育の場を提供する。さらに企業実習・社会体験を授業カリキュラムの一環とすることにより、専門技術と知識及びホスピタリティマインドを習得させ、専門士の称号を与えるに十分な人材を育成する。					
分 野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授 業時数又は総 単位数	専門士の付 与	高度専門士の付与
商業実 務	商業実 務専門 課程	デュアル科 (エアライ ンコース)	2年(夜)	1,751時間 (121単位)	平成25年文 部科学省告 示第2号	—
教 育 課 程	講 義	演 習	実 験	実 習	実 技	
	57単位	0単位	0単位時間 (又は単位)	64単位	0単位	
生 徒 総 定 員	生 徒 実 員	専 任 教 員 数	兼 任 教 員 数	総 教 員 数		
20人	15人	2人	16人	18人		
学 期 制 度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成 績 評 価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 出席率、授業態度、試験		
長 期 休 み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月26日～1月5日 ■学 年 末：3月21日～3月31日		卒 業 ・ 進 級 条 件	卒業・進級基準単位の取得		
生 徒 指 導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談、カウンセラーの紹介		課 外 活 動	■課外活動の種類 中村学園3校の学生が、自主活動により各種イベント、クラブ活動、ボランティア活動を行っている ■サークル活動 (有・無)		
主 な 就 職 先	■主な就職先、業界 旅行、空港、航空、ホテル ■就職率 100%		主 な 資 格 ・ 検 定	国内旅行業務取扱管理者 実用英語技能検定 レストランサービス技能検定		
中 途 退 学 の 現 状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% ※1名減員はホテル科夜間部へコース変更 平成24年4月1日在学者 13名 (平成24年4月入学者を含む) 平成25年3月31日在学者 12名 (平成25年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲興味喪失、家庭学外環境 ■中退防止のための取組 担任個人面談、要注意学生観察と社内情報共有、保護者説明会、初年時教育の充実等					

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ・当学科（デュアル科）の科目編成は主に、①必修科目（共通必修科目、専門必修科目）と②選択科目から成り立っており、卒業後、旅行会社、ホテル、空港関連企業などの観光業界において、即戦力として活躍できる実務実践教育をカリキュラムに取り入れている。科目問わず、就職先企業からの情報収集やアドバイスを踏まえカリキュラムに反映し、また一部の授業については企業派遣で運営をしている。
 - ・教育課程の編成において、厚生労働省・文部科学省が推進する若者の自立・支援事業として行う、実務教育・産学連携人材システム（日本版デュアルシステム）を取り入れ、企業実習（OJT）をカリキュラム構成の重要要素と位置付け、夜間部授業カリキュラムの一環として実施している。
 - ・企業実習については実習中の心構え、日常生活の注意点などの事前指導から始まり、実習中は「実習手帳」に日々の業務日報を記録、終了後は自己評価とともに企業からの評価を受ける。学校、学生そして企業の連携により、よりよい人材育成とカリキュラムへの検討に繋げる。
 - ・専門的技術と知識の習得及びホスピタリティマインドの醸成をもって専門士の称号を与えるに十分な人材育成を目指している。
 - ・年2回の講師会議において企業また企業からの派遣講師を招き、情報収集を行っている。また授業担当者とのカリキュラム検討を随時実施しており、業界動向や求める人材像の把握に努めている。
 - ・本年度より発足された「教育課程編成委員会」において定期的な評価、改善を図っていく。
- (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年12月15日現在

名前	所属
瀧 潤一郎	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
千葉 山	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
寺田 宗則	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
鈴木 眞雄	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマレ
橋本 喜則	ヒルトン東京ベイ
佐川 知弘	一般社団法人 日本旅行業協会 関東支部 千葉県地区委員会 委員長
	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店
石井 光彦	株式会社旅行綜研
酒井 大之	東日観光株式会社船橋支店
只隈 修一	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店

(開催日時)

第1回 平成25年12月20日 13:30~14:20

第2回 平成26年2月12日 13:30~14:20

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ・企業実習は、厚生労働省・文部科学省が推進する若者の自立・支援事業として行う、実務教育・産学連携人材システム（日本版デュアルシステム）の企業実習（OJT）を当校が設置する夜間部授業カリキュラムの一環として実施し、専門的技術と知識の習得及びホスピタリティマインドの醸成をもって専門士の称号を与えるに十分な人材育成を目的としている。
- ・「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」の教育理念に基づき、ビジネス教養、専門分野の授業の一部を企業と連携し、契約した企業からの派遣講師により実施している。

科目名	科目概要	連携企業等
実習	観光業界（ホテル、ブライダル、旅行会社、鉄道、空港等）の実務の現場で、実地体験を積み重ねる中で、業務内容のより一層の理解と体得をふまえ、将来の職業モラルの育成を図っていくという目的で全学生に対し企業実習を義務付けております。	ヒルトン東京ベイ、オリエンタルホテル東京ベイ、ホテルイースト21、ホテルニューオータニ幕張、(株)ジャッツ、(株)エアサーブ、ワールドエンタプライズ(株)、(株)FMG、(株)JTB ビジネストラベルソリューション

		ヨンス、(株)旅行綜研
電話対応実技	電話はビジネスには欠かせないツールであり、企業の窓口です。感じよい電話対応はどのような職業に就いたとしても、あなたの武器になります。基本である心構え・受け方 ・かけ方・取次・伝言のしかた、対応スキル（発声・発音・敬語・応対用語・電話における個人情報保護）を学びます。	(株)ソフト・サービス・カンパニー
社会の仕組みⅠ・Ⅱ	私達は多くの人と関わりながら社会生活を送ります。スムーズに活動していくためには、お互いが思いやりを持ち、協力し合うことが必要でしょう。授業で、マナーにおける作法は、思いやりの気持ちを相手に伝えるための‘手段’です。授業ではマナーの必要性を理解しながら基本を中心に学び、スキル向上を目指します。そして自分達を取り巻く環境も踏まえながら、自分なりの目標を持って取り組むことも大切な目的です。	(有)キャリアステージ
フレッシューズセミナー	将来の目標は何か、そのためには何をすればいいのか、自分と向き合いながら授業を進めていきます。そして演習では、グループワークや発表を多く取り入れて、より実践的なスキル目指します。それにより、自主的に行動することや責任をもって自分の役割を果たす意を養います社会人として、自信をもってスタートを切れるように準備をしていきましょう。	(有)キャリアステージ
エアポート英会話Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	目的：空港業務に関する英語表現を学び、外国人とのコミュニケーション能力の向上を図る。航空業界で使用される専門用語の把握及びその英語表現を幅広く学ぶ。 目的：外国人とのコミュニケーションを円滑にするための英会話能力の向上を図る。 ・ 航空業界で使用される専門用語の把握及びその英語表現を幅広く学ぶ。 ・ 接客用の英会話を中心に授業を進める。	(株)TEI
TOEIC	目標：TOEIC 試験において 500 点以上を目指す。 対策：リスニング：効果的なリスニングの方法を学び実践/ シャドーイングの要領・リーディング：語彙力、イディオムの増強、文法力の向上	(株)TEI
手話講座Ⅰ・Ⅱ	サービス業において、障害者のお客様と接する機会は多いと思います。どのようなお客様にも均等にサービスが出来るようバリアフリーの授業とともに、この授業では聴覚障害・聴覚障害者への理解と認識を深めると共に簡単な手話表現が出来る技術を習得する。	社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(1) 学園研修

- ①ファシリテーションスキルを学び日常業務に活用して、クラス運営、授業運営等に役立てる。
- ②組織力強化につながるコミュニケーションスキルを改善して、目標管理(MBO)を活用した部下育成力を高める。

(2) 学校研修

当校の教育方針において「ホスピタリティ」「臨機応変」「国際感覚」「即戦力」「挑戦」の5項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の実務の場で即戦力として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主として、業界の歴史や話題性を掘んだ内容を追及している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年12月20日現在

名 前	所 属
瀧 潤一郎	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
鈴木 眞雄	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマレ
橋本 喜則	ヒルトン東京ベイ
佐川 知弘	一般社団法人 日本旅行業協会 関東支部 千葉県地区委員会 委員長
	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店
石井 光彦	株式会社旅行綜研
酒井 大之	東日観光株式会社船橋支店
只隈 修一	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.ithb.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.ithb.ac.jp/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デュアル科エアラインコース) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ホスピタリティ I・II	相手の立場になり物事を考える力、人を大切にできる力が「ホスピタリティ」です。他者と関わる限り、「ホスピタリティマインド」は必ず必要なヒューマンスキル。自己理解、他者理解、そして相手、社会と関わるためには「お互いにOK」であるという態度がベストであることに気づき、自主的に行動できるようにしていきます。ロールプレイングや具体的な身近な事例を多く交えて分かりやすく進めていきます。	1 通	30	2	○	△	
○			社会の仕組み I・II	私達は多くの人と関わりながら社会生活を送ります。スムーズに活動していくためには、お互いが思いやりを持ち、協力し合うことが必要でしょう。授業で、マナーにおける作法は、思いやりの気持ちを相手に伝えるための‘手段’です。授業ではマナーの必要性を理解しながら基本を中心に学び、スキル向上を目指します。そして自分達を取り巻く環境も踏まえながら、自分なりの目標を持って取り組むことも大切な目的です。	1 通	30	2	○	△	
○			パソコン I・II III・IV	現代の企業では、パソコンが使えて当たり前とみなされる時代です。パソコンの基本的な知識や操作に始まり、就職活動や実践で役立つインターネットの活用、文書作成ソフトを使用した基本的なビジネス文書作成、表計算ソフトを使用した表やグラフの作成を行います。就職活動や実践で役立つインターネットの活用、文書作成ソフトを使用した実践的なビジネス文書作成、応用、表計算ソフトを使用したデータベースの活用、画像加工、プレゼンテーションソフトの基礎・応用など、皆さんのICTリテラシーとソフト活用のスキルの向上を目指し、社会生活における即戦力としてのスキル向上を目的とします。	2 通	60	4	○	△	

○		業界ガイド	旅行業界や空港で働きたいと希望している皆さんに対して、どのような仕事があるのか？どのような会社があるのか？またその現状について出来るだけ多くの事を学んでいきます。	1 前	15	1	○	△	
○		就職ガイド	就職活動を始める準備として、“伝えたい自分”を明確にする作業を行なう。自身の「過去、現在、未来」を見つめ、自分なりの価値観などを知るとともに、これからどのような進路に進みたいかを考えながら、「自己分析」「業界・業種・企業研究」を行なう。また、適宜筆記試験も行ないます。求人情報の案内と解説を行い、各求人企業への受験準備をサポートする。また1年生次から進めてきた自己分析を自己PRとして完成させ更に、志望する業界・職種・企業に対する志望動機を仕上げていく。就職試験本番を迎え、個々の進行プロセスに応じた就職活動をバックアップする。	1 後 ・ 2 前	60	4	○	△	
○		セルフコーチング	学生の方々の直近の目標は、就職の内定を勝ち取る事だと思います。就活を成功する鍵は2つです。雇用されるための能力があること。そして、もう一つは、その能力があると採用側にパフォーマンスする力（表現力）です。この表現する力は、メンタルの力と大きく関わってきます。セルフコーチングの授業では、表現力を養うメンタルの鍛え方と、就活を成功させるために必要な様々な実践的な指導をしていきます。	1 通	30	2	○	△	
○		バリアフリー	高齢者や障害に対して学習し、疑似体験をしていく。体験を取り入れることで、少しでも「気づき」が生まれ自ら考えられるようになる事を目指していく。バリアフリーの観点に立ち、世の中にある色々なバリアについて考えていく。※「サービス介助士2級検定」の取得を視野にいれて授業運営していくが、検定対策ではないので、教科書は使わずに疑似体験やディスカッションを重視して行う。	1 前	15	1	○	△	

○		手話講座 I・II	サービス業において、障害者のお客様と接する機会が多いと思います。どのようなお客様にも均等にサービスが出来るようバリアフリーの授業とともに、この授業では聴覚障害・聴覚障害者への理解と認識を深めると共に簡単な手話表現が出来る技術を習得する。	2通	30	2	○	△	
	○	ワードエアーチケット	お客様に国際航空券を発券したり、添乗員としてお客様の国際航空券を預かったり、成田空港でお客様の搭乗手続きのお手伝いをしたり、旅行業界ではさまざまな場面で国際航空券（ワールドエアーチケット）を取り扱います。当講座は ① 航空業界全般の動き ② 国際航空約款 ③ 国際線チケット（航空券）の種類 ④ 主要エアラインの2レターを習得することを目標とします。 また羽田空港国際線拡張や格安航空会社（LCC）の進出など、話題に事欠かない航空業界の現状についても、当講座の主要テーマとして扱います。	2前	15	1	○	△	
○		電話対応実技	電話はビジネスには欠かせないツールであり、企業の窓口です。感じよい電話対応はどのような職業に就いたとしても、あなたの武器になります。基本である心構え・受け方・かけ方・取次・伝言のしかた、対応スキル（発声・発音・敬語・対応用語・電話における個人情報保護）を学びます。模擬電話機を使って、ロールプレイングを多く取り入れ、「電話対応は任せて」といえるように、実践重視の授業です。	2後	15	1	○	△	
	○	国際旅行実務	海外旅行実務全般について概略を学び、特に業界にとって必要な航空時刻表の見方、ヨーロッパを中心とした鉄道時刻表の読み方、時差の計算方法、ホテルの知識等各種知識を幅広く習得する授業です。	2後	15	1	○	△	
○		フレッシュャーズセミナー	将来の目標は何か、そのためには何をすればいいのか、自分と向き合いながら授業を進めていきます。そして演習では、グループワークや発表を多く取り入れて、より実践的なスキル目指します。それにより、自主的に行動することや責任をもって自分の役割を果たす意を養います社会人として、自信をもってスタートを切れるように準備をしていきましょう。	2後	15	1	○	△	

	○	国内地理	都道府県に始まり温泉、自然景観、歴史的建造物などの国内の基本的な観光地理を学習していきます。授業時間に限りがあるため学生各人による反復・復習学習は必要となりますが、各種検定にも対応できるように学習していきます。	1 前	15	1	○	△	
	○	国内地理	都道府県に始まり温泉、自然景観、歴史的建造物などの国内の基本的な観光地理を学習していきます。授業時間に限りがあるため学生各人による反復・復習学習は必要となりますが、各種検定にも対応できるように学習していきます。	1 前	15	1	○	△	
	○	空港旅客サービス実務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	前期授業「空港旅客サービス入門」のステップアップとして、国際空港で働くための実務的な知識の習得を目指します。	1 後 ・ 2 通	45	3	○	△	
	○	空港旅客サービス入門	将来、国際空港で働くために必要な航空業界の基礎知識について学ぶ。お客様がチェックインし、飛行機へ乗り込むまでに必要な諸手続きや、航空業界の専門用語、空港での仕事を理解し、空港で働いてすぐに使える基礎知識の習得を目指す。	1 前	15	1	○	△	
	○	アマデウスⅠ・Ⅱ	航空・旅行業界の予約手配において、先進のIT技術は欠かせません。中でも、アマデウスはGDS(Global Distribution System)と呼ばれ、全世界の旅行会社にとって、航空券やホテルなどの旅行素材を手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験に挑戦し資格取得を目標としてください。(アマデウスシステム検定試験 2014年10月実施予定)	1 後 ・ 2 前	30	2	○	△	

	○	空港約款ベ シク	成田空港で接客の仕事（センディングやグ ランドスタッフなど）においては、お客様 との間でのやりとりについて、知っておか なければならぬ決まり事があります。 「航空券」の取り扱いのルールから始ま り、「荷物は？」「ペットは運べるの？」… etc. クレームに対処するのルールが必要 です。これらのルール＝「約款」です。 また、格安航空会社（LCC）の参入や羽 田国際線就航など、話題豊富な最近の航空 業界の動きについても解説し、空港で働く ためのバックボーンとなる知識もつけていき ます。	1 前	15	1	○	△	
	○	エアポート英 会話Ⅰ・Ⅱ・ Ⅲ・Ⅳ	目的：空港業務に関する英語表現を学び、 外国人とのコミュニケーション能力の向上を図る。 航空業界で使用される専門用語の把握及 びその英語表現を幅広く学ぶ。 目的：外国人とのコミュニケーションを円 滑にするための英会話能力の向上を図る。 ・ 航空業界で使用される専門用語の把握 及びその英語表現を幅広く学ぶ。 ・ 接客用の英会話を中心に授業を進める。	2 通	60	4	○	△	
	○	エアカーゴ業 務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ	一般的に、航空貨物（エアカーゴ）業界と 言うとき航空会社が一番に思い浮かぶこと でしょう。しかし、航空貨物の仕事は航空 会社だけではなく、貨物を飛行機に積み込 む仕事や取り降ろす仕事、更に国際航空貨 物になると、海外へ貨物を送るための輸出 通関手続き・海外からの貨物を引き取るた めの輸入通関手続き、国内での貨物の集 配、梱包やラベル貼付など、「国際航空貨 物」の仕事は多種多様です。この授業では、 その輸送に携わる「エアカーゴ業務」とは どのような業界なのか？業界の概要とそ の仕事内容についての知識修得を目標と した授業を目指しさらに貨物を取り扱う 上での注意や安全衛生面に関する知識を 修得すると共に、国際航空貨物のみなら ず、海上貨物輸送、更には貿易に関わる知 識を学ぶことによって、皆さんが社会人 になった際に役立つ物流、運輸に関わる一 般的な知識を身に付ける授業を目指します。	2 通	60	4	○	△	

	○	空港旅客サービス入門	将来、国際空港で働くために必要な航空業界の基礎知識について学ぶ。お客様がチェックインし、飛行機へ乗り込むまでに必要な諸手続きや、航空業界の専門用語、空港での仕事を理解し、空港で働いてすぐに使える基礎知識の習得を目指す。	1 前	15	1	○	△	
	○	空港C I Q	海外旅行に必要な基礎知識をしっかりと身につけてもらい、空港の業務に携わるものとして、知っておいて欲しい日本を含めた世界の主要都市のC（税関）・I（出入国審査）・Q（検疫）を中心に学んでいきます。	1 通	30	2	○	△	
	○	観光英語検定対策	観光英語（Tourism English）とは、観光業に携わるものが習得すべき英語であり、そのための観光英語検定試験が国土交通省の推奨で毎年10月に行われている。観光業に携わる業種は、旅行代理店、観光地（名所旧跡、世界遺産等）、運送業（飛行機、バス、鉄道、船等）、宿泊施設（ホテル、旅館、ユースホステル等）など多岐にわたる。目的として、観光英語特有の専門用語、表現を学び、観光英語検定3級以上の合格の実力を養う。	2 前	15	1	○		
	○	世界遺産探訪	「世界遺産」－1972年に採択されたユネスコの「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（通称：世界遺産条約）の中で登場した言葉である。現在日本の「世界遺産」は16件（文化遺産12件、自然遺産4件）登録されていますが、実は世界では何と800を超える世界遺産が登録されています。授業ではヨーロッパ、アメリカの代表的な世界遺産を映像を通して紹介し、地球の知られざる歴史を旅します。	2 後	15	1	○		
	○	空港カウンター演習	エアライン業界で働くための接客技術を復習しながら、1年次に学習した基本的な業務内容を元に、空港や機内で起こりがちなトラブルやアクシデントを通して、適切な接客方法、対処方法を一緒に考え、ロールプレイで実践していきます。	2 前	15	1	○	△	
	○	世界のエアライン・エアポート	成田国際空港に乗り入れている航空会社を中心に、航空会社の国籍、歴史、機内クラス、サービス、客室乗務員の制服、ベースとしている空港など、様々な基礎知識を学びます。	2 後	15	1	○	△	

	○	航空業界事情	航空業界全体の観点より見た、日本のエアライン、海外より日本に参入してくるLCC、はてまた日本にも誕生した国内製LCCについて研究する。また利用者にとってメリットの大きい「マイレージサービス」の仕組みを研究する。	2 後	15	1	○	△	
	○	実用英語検定対策3級	「英語検定3級」取得を目指します。合格のコツに重点を置きテスト慣れすることを目指します。単語、熟語、会話文を毎回のテストという形で引き続き学びます。3級合格のテクニックを自分のものにし、リスニングにも力を入れていきます。積極的に取り組む姿勢で学んで下さい。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	
	○	実用英語検定対策準2級	実用英語を身につける効果的な手段である英検準2級の合格を目指します。予想問題ドリルを中心に、頻出単語・熟語・文法・読解・会話表現を学習します。毎回リスニングの時間もとって、試験対策を進めていきます。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	
	○	TOEIC	目標：TOEIC 試験において500点以上を目指す。 対策：リスニング：効果的なリスニングの方法を学び実践/ シャドーイングの要領・リーディング：語彙力、イディオムの増強、文法力の向上	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	
	○	中国語Ⅰ・Ⅱ	この授業では、まず中国語の基本一発音（ピンイン）からスタートする。ピンインを反復練習することで、中国語の発音を身につけ、簡単な日常会話を学習する。授業は「楽しい中国語」という主旨で、生徒の様子を見ながら授業を行う。会話で文法、単語を覚え、日中文化や生活習慣を比較しながら、中国語をより理解する。目標： 1、ピンインがあれば、文章を読める 2、単語を使って簡単な表現ができる 3、簡単な質問に答える（特に職場に使う言葉）	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	
	○	韓国語Ⅰ・Ⅱ	「韓国・韓国語とはどういうものか」からはじめ、日本語の語順で韓国語を運用していくテクニックを習得する。「誰がどうする」「何がどうだ」を主題とし、簡単な単文の構造で、日常からビジネスまでの表現を、暗記にたよらず自分の考えを、この言葉で言えるような学習の展開をする。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	

		○	ビジネス能力 検定 3 級対策	「ビジネス能力検定 3 級」取得を目指します。新入社員として必要な基本的なビジネスマナー・知識を幅広く学習します。同時に、毎回過去の問題を抜粋し実際に問題を解くことで、テストに慣れてもらいます。検定合格のみにとどまらない、社会に役立つビジネスマナーを体得していきましょう。	1 後	15	1	○	△	
		○	ビジネス能力 検定 2 級対策	「ビジネス能力検定 2 級」取得を目指します。社会人として必要なビジネスの知識とスキルを総合的に学習します。組織の理解、業務の具体的な遂行など、実践的な知識を学び即戦力となるように、3 級とは違った深い内容です。新聞問題は読解力、ケース問題は、社会人 3 年目くらいを想定した仕事力が問われます。毎回、講義＋問題で社会人力をつけていきましょう。	2 通	30	2	○	△	
		○	秘書検定 3 級対策	秘書検定は、職務知識、一般知識、マナー知識などが必要とされます。また、これから社会人となるために必要な知識を身につけることにも役立ちます。このクラスでは、問題を解きながら自分自身を高めるべく社会常識を学び検定合格を目指します。	1 後	15	1	○	△	
		○	秘書検定 2 級対策	秘書検定は、職務知識、一般知識、マナー知識などが必要とされます。また、これから社会人になるために必要な知識を身につけることにも役立ちます。このクラスでは、問題を解きながら自分自身を高めるべく社会常識を学び検定合格を目指します。	2 通	30	2	○	△	
		○	漢字検定対策	漢検は就職活動にも役立ち、非常に注目され、また、人気のある資格試験の一つです。しかし、日頃から適切な準備をしないと合格に結びつきません。学生時代に身につけた日本語の力が「社会人力」の基礎となります。社会人として、すぐに役立つ漢検資格取得に向け、半年間の授業で準備をします。漢字を学ぶ楽しさ、面白さを味わいながら、漢字力を身につけ、日本語力の向上を目指します。具体的には、日本漢字能力検定 3 級・準 2 級・2 級の合格が目標です。授業は、参加型・実習重視で毎回、漢字テスト・演習プリントに取り組みます。	1 後 ・ 2 通	30	2	○	△	

		○	漢字検定対策	漢検は就職活動にも役立ち、非常に注目され、また人気のある資格試験の一つです。しかし、日頃から適切な準備をしないと合格に結びつきません。学生時代に身につけた日本語の力が「社会人力」の基礎となります。社会人として、すぐに役立つ漢検資格取得に向け、半年間の授業で準備をします。漢字を学ぶ楽しさ、面白さを味わいながら、漢字力を身につけ、日本語力の向上を目指します。具体的には、日本漢字能力検定3級・準2級・2級の合格が目標です。授業は、参加型・実習重視で毎回、漢字テスト・演習プリントに取り組みます。	1 後	15	1	○	△	
○			コミュニケーション	個人、クラスの具体的なアクションプランを作成し実行していく。個々のスキル、目標達成のためのPDCAサイクルの実践を主とする。	1 通 ・ 2 通	60	4	○		
○			実習	観光業界（ホテル、ブライダル、旅行会社、鉄道、空港等）の実務の現場で、実地体験を積み重ねる中で、業務内容のより一層の理解と体得をふまえ、将来の職業モラルの育成を図っていくという目的で全学生に対し企業実習を義務付けております。	1 通 ・ 2 通	896	64			○
合計				34 科目	1,753 時間 (121 単位)					

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国 際 ト ラ ベ ル ・ ホ テ ル ・ ブ ラ イ ダ ル 専 門 学 校	平成5年3月25日	瀧 潤 一 郎	〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿2-11-12 (電話) 043-242-0468			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中 村 洋 子	〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467			
目 的	働きながらも向上心を持つ者に対し、教育の場を提供する。さらに企業実習・社会体験を授業カリキュラムの一環とすることにより、専門技術と知識及びホスピタリティマインドを習得させ、専門士の称号を与えるに十分な人材を育成する。					
分 野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授業 時数又は総 単位数	専門士の付 与	高度専門士の付与
商業実 務	商業実 務専門 課程	デュアル科 (ホテルコ ース)	2年(夜)	1,811時間 (125単位)	平成25年文 部科学省告 示第2号	—
教 育 課 程	講 義	演 習	実 験	実 習	実 技	
	61単位	0単位	0単位時間 (又は単位)	64単位	0単位	
生 徒 総 定 員	生 徒 実 員	専 任 教 員 数	兼 任 教 員 数	総 教 員 数		
20人	15人	2人	16人	18人		
学 期 制 度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成 績 評 価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 出席率、授業態度、試験		
長 期 休 み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月26日～1月5日 ■学 年 末：3月21日～3月31日		卒 業 ・ 進 級 条 件	卒業・進級基準単位の取得		
生 徒 指 導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談、カウンセラーの紹介		課 外 活 動	■課外活動の種類 中村学園3校の学生が、自主活動により各種イベント、クラブ活動、ボランティア活動を行っている ■サークル活動 (有・無)		
主 な 就 職 先	■主な就職先、業界 旅行、空港、航空、ホテル ■就職率 100%		主 な 資 格 ・ 検 定	国内旅行業務取扱管理者 実用英語技能検定 レストランサービス技能検定		
中 途 退 学 の 現 状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% ※1名減員はホテル科夜間部へコース変更 平成24年4月1日在学者 13名 (平成24年4月入学者を含む) 平成25年3月31日在学者 12名 (平成25年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 担任個人面談、要注意学生観察と社内情報共有、保護者説明会、初年時教育の充実等					

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ・当学科（デュアル科）の科目編成は主に、①必修科目（共通必修科目、専門必修科目）と②選択科目から成り立っており、卒業後、旅行会社、ホテル、空港関連企業などの観光業界において、即戦力として活躍できる実務実践教育をカリキュラムに取り入れている。科目問わず、就職先企業からの情報収集やアドバイスを踏まえカリキュラムに反映し、また一部の授業については企業派遣で運営をしている。
 - ・教育課程の編成において、厚生労働省・文部科学省が推進する若者の自立・支援事業として行う、実務教育・産学連携人材システム（日本版デュアルシステム）を取り入れ、企業実習（OJT）をカリキュラム構成の重要要素と位置付け、夜間部授業カリキュラムの一環として実施している。
 - ・企業実習については実習中の心構え、日常生活の注意点などの事前指導から始まり、実習中は「実習手帳」に日々の業務日報を記録、終了後は自己評価とともに企業からの評価を受ける。学校、学生そして企業の連携により、よりよい人材育成とカリキュラムへの検討に繋げる。
 - ・専門的技術と知識の習得及びホスピタリティマインドの醸成をもって専門士の称号を与えるに十分な人材育成を目指している。
 - ・年2回の講師会議において企業また企業からの派遣講師を招き、情報収集を行っている。また授業担当者とのカリキュラム検討を随時実施しており、業界動向や求める人材像の把握に努めている。
 - ・本年度より発足された「教育課程編成委員会」において定期的な評価、改善を図っていく。
- (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年12月15日現在

名 前	所 属
瀧 潤一郎	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
千葉 山	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
寺田 宗則	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
鈴木 眞雄	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマレ
橋本 喜則	ヒルトン東京ベイ
佐川 知弘	一般社団法人 日本旅行業協会 関東支部 千葉県地区委員会 委員長
	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店
石井 光彦	株式会社旅行綜研
酒井 大之	東日観光株式会社船橋支店
只隈 修一	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店

(開催日時)

第1回 平成25年12月20日 13:30~14:20

第2回 平成26年2月12日 13:30~14:20

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ・企業実習は、厚生労働省・文部科学省が推進する若者の自立・支援事業として行う、実務教育・産学連携人材システム（日本版デュアルシステム）の企業実習（OJT）を当校が設置する夜間部授業カリキュラムの一環として実施し、専門的技術と知識の習得及びホスピタリティマインドの醸成をもって専門士の称号を与えるに十分な人材育成を目的としている。
- ・「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」の教育理念に基づき、ビジネス教養、専門分野の授業の一部を企業と連携し、契約した企業からの派遣講師により実施している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
実習	観光業界（ホテル、ブライダル、旅行会社、鉄道、空港等）の実務の現場で、実地体験を積み重ねる中で、業務内容のより一層の理解と体得をふまえ、将来の職業モラルの育成を図っていくという目的で全学生に対し企業実習を義務付けております。	ヒルトン東京ベイ、オリエンタルホテル東京ベイ、ホテルイースト21、ホテルニューオータニ幕張、(株)ジャッツ、(株)エアサーブ、ワールドエンタプライズ(株)、(株)FMG、(株)JTB ビジネストラベルソリューション

		ヨンス、(株)旅行綜研
電話対応実技	電話はビジネスには欠かせないツールであり、企業の窓口です。感じよい電話対応はどのような職業に就いたとしても、あなたの武器になります。基本である心構え・受け方・かけ方・取次・伝言のしかた、対応スキル（発声・発音・敬語・応対用語・電話における個人情報保護）を学びます。	(株)ソフト・サービス・カンパニー
社会の仕組みⅠ・Ⅱ	私達は多くの人と関わりながら社会生活を送ります。スムーズに活動していくためには、お互いが思いやりを持ち、協力し合うことが必要でしょう。授業で、マナーにおける作法は、思いやりの気持ちを相手に伝えるための‘手段’です。授業ではマナーの必要性を理解しながら基本を中心に学び、スキル向上を目指します。そして自分達を取り巻く環境も踏まえながら、自分なりの目標を持って取り組むことも大切な目的です。	(有)キャリアステージ
フレッシューズセミナー	将来の目標は何か、そのためには何をすればいいのか、自分と向き合いながら授業を進めていきます。そして演習では、グループワークや発表を多く取り入れて、より実践的なスキル目指します。それにより、自主的に行動することや責任をもって自分の役割を果たす意を養います社会人として、自信をもってスタートを切れるように準備をしていきましょう。	(有)キャリアステージ
TOEIC	目標：TOEIC 試験において 500 点以上を目指す。 対策：リスニング：効果的なリスニングの方法を学び実践/ シャドーイングの要領・リーディング：語彙力、イディオムの増強、文法力の向上	(株)TEI
手話講座Ⅰ・Ⅱ	サービス業において、障害者のお客様と接する機会は多いと思います。どのようなお客様にも均等にサービスが出来るようバリアフリーの授業とともに、この授業では聴覚障害・聴覚障害者への理解と認識を深めると共に簡単な手話表現が出来る技術を習得する。	社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会
飲料解説Ⅰ・Ⅱ	お酒の知識を学ぶことは、大変な学習時間のかかることですが、学ぶ内容や範囲も広く興味だけでは続きません。ただし、レストランでは、料理と共に飲物も不可欠な存在でもあります。最低でも基礎知識だけは身につけておかなければなりません。名前や違いなどをしっかりと覚える事を目標に勉強していきます。	ジャパンフード
バーテンダー講座Ⅰ・Ⅱ	年間を通して、バーテンダーとして就業した際に必要な知識（酒類やカクテルの知識だけでなく、カウンター越しの接客を踏まえた知識修得）、技術（カクテルのメイキングだけでなく、実際に従事した際に必要な技術の習得）、心得え（接客に必要なバーでのマナーや、講師の実際に経験した実話などを盛り込む）などを修得	ジャパンフード

	させる。最終的に、すぐにバーに配属された場合の最低限必要なすべての項目を身に付けさせ、バーテンダーという職種に興味を持ってもらう。	
ソムリエ講座	ワインに興味を持つこと、ワインについて少しでも知識が広がること、ワインのことがいろいろなことに広がって、人生にうおいを持たせることや健康にもよいこと等知らないことがわかり得たときの感動を、共感できたらと願いわかりやすい授業を心がけていきます。	ジャパンフード

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(1) 学園研修

- ①ファシリテーションスキルを学び日常業務に活用して、クラス運営、授業運営等に役立てる。
- ②組織力強化につながるコミュニケーションスキルを改善して、目標管理(MBO)を活用した部下育成力を高める。

(2) 学校研修

当校の教育方針において「ホスピタリティ」「臨機応変」「国際感覚」「即戦力」「挑戦」の5項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の実務の場で即戦力として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主として、業界の歴史や話題性を掘んだ内容を追及している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年12月20日現在

名 前	所 属
瀧 潤一郎	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
鈴木 眞雄	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラレ
橋本 喜則	ヒルトン東京ベイ
佐川 知弘	一般社団法人 日本旅行業協会 関東支部 千葉県地区委員会 委員長
	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店
石井 光彦	株式会社旅行綜研
酒井 大之	東日観光株式会社船橋支店
只隈 修一	株式会社日本旅行千葉教育旅行支店

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ithb.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ithb.ac.jp/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デュアル科ホテルコース) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ホスピタリティ I・II	相手の立場になり物事を考える力、人を大切にできる力が「ホスピタリティ」です。他者と関わる限り、「ホスピタリティマインド」は必ず必要なヒューマンスキル。自己理解、他者理解、そして相手、社会と関わるためには「お互いにOK」であるという態度がベストであることに気づき、自主的に行動できるようにしていきます。ロールプレイングや具体的な身近な事例を多く交えて分かりやすく進めていきます。	1 通	30	2	○	△	
○			社会の仕組み I・II	私達は多くの人と関わりながら社会生活を送ります。スムーズに活動していくためには、お互いが思いやりを持ち、協力し合うことが必要でしょう。授業で、マナーにおける作法は、思いやりの気持ちを相手に伝えるための‘手段’です。授業ではマナーの必要性を理解しながら基本を中心に学び、スキル向上を目指します。そして自分達を取り巻く環境も踏まえながら、自分なりの目標を持って取り組むことも大切な目的です。	1 通	30	2	○	△	
○			パソコン I・II III・IV	現代の企業では、パソコンが使って当たり前とみなされる時代です。パソコンの基本的な知識や操作に始まり、就職活動や実践で役立つインターネットの活用、文書作成ソフトを使用した基本的なビジネス文書作成、表計算ソフトを使用した表やグラフの作成を行います。就職活動や実践で役立つインターネットの活用、文書作成ソフトを使用した実践的なビジネス文書作成、応用、表計算ソフトを使用したデータベースの活用、画像加工、プレゼンテーションソフトの基礎・応用など、皆さんのICTリテラシーとソフト活用のスキルの向上を目指し、社会生活における即戦力としてのスキル向上を目的とします。	2 通	60	4	○	△	

○		業界ガイド	旅行業界や空港で働きたいと希望している皆さんに対して、どのような仕事があるのか？どのような会社があるのか？またその現状について出来るだけ多くの事を学んでいきます。	1 前	15	1	○	△	
○		就職ガイド I・II	就職活動を始める準備として、“伝えたい自分”を明確にする作業を行なう。自身の「過去、現在、未来」を見つめ、自分なりの価値観などを知るとともに、これからどのような進路に進みたいかを考えながら、「自己分析」「業界・業種・企業研究」を行なう。また、適宜筆記試験も行ないます。求人情報の案内と解説を行い、各求人企業への受験準備をサポートする。また1年生次から進めてきた自己分析を自己PRとして完成させ更に、志望する業界・職種・企業に対する志望動機を仕上げていく。就職試験本番を迎え、個々の進行プロセスに応じた就職活動をバックアップする。	1 後 ・ 2 前	60	4	○	△	
○		セルフコーチング I・II	学生の方々の直近の目標は、就職の内定を勝ち取る事だと思います。就活を成功する鍵は2つです。雇用されるための能力があること。そして、もう一つは、その能力があると採用側にパフォーマンスする力（表現力）です。この表現する力は、メンタルの力と大きく関わってきます。セルフコーチングの授業では、表現力を養うメンタルの鍛え方と、就活を成功させるために必要な様々な実践的な指導をしていきます。	1 通	30	2	○	△	
○		バリアフリー	高齢者や障害に対して学習し、疑似体験をしていく。体験を取り入れることで、少しでも「気づき」が生まれ自ら考えられるようになる事を目指していく。バリアフリーの観点に立ち、世の中にある色々なバリアについて考えていく。※「サービス介助士2級検定」の取得を視野にいれて授業運営していくが、検定対策ではないので、教科書は使わずに疑似体験やディスカッションを重視して行う。	1 前	15	1	○	△	

○		手話講座 I・II	サービス業において、障害者のお客様と接する機会が多いと思います。どのようなお客様にも均等にサービスが出来るようバリアフリーの授業とともに、この授業では聴覚障害・聴覚障害者への理解と認識を深めると共に簡単な手話表現が出来る技術を習得する。	2通	30	2	○	△	
	○	料理解説 I・II・III・IV	ホテルでの従事を志す上で、ホテルの営業部門全体の50%以上を占める、レストラン・宴会部門に必要なものが料理である。人に食事をサービスする以上、専門知識を持っていないではなりません。今まで、なんのきなしに食事をしていたと思いますが、これからは人にアドバイスや分からない事を教えてあげなくては行けない立場になります。専門的にフランス料理・中国料理・日本料理にわけて2年間で勉強していきます。	1通 ・ 2通	60	4	○	△	
	○	英会話 I・II・III・IV	ホテル業務に必要な目的別・場面別の英語表現を学びます。まずは、挨拶、ホテル用語などの、基本的な英語表現を学び、その後、ロールプレイを中心に場面別の英語表現を学びます。簡単な文が構築でき、基本的なコミュニケーションが取れるようになることを目的とします。なお、履修の順番は変更になる場合があります。	1通 ・ 2通	60	4	○	△	
	○	飲料解説 I・II	お酒の知識を学ぶことは、大変な学習時間のかかることですが、学ぶ内容や範囲も広く興味だけでは続きません。ただし、レストランでは、料理と共に飲物も不可欠な存在でもあります。最低でも基礎知識だけは身につけておかななくてはなりません。名前や違いなどをしっかりと覚える事を目標に勉強していきます。	2後	15	1	○	△	
○		電話対応実技	電話はビジネスには欠かせないツールであり、企業の窓口です。感じよい電話対応はどのような職業に就いたとしても、あなたの武器になります。基本である心構え・受け方・かけ方・取次・伝言のしかた、応対スキル（発声・発音・敬語・応対用語・電話における個人情報保護）を学びます。模擬電話機を使って、ロールプレイングを多く取り入れ、「電話対応は任せて」といえるように、実践重視の授業です。	2後	15	1	○	△	

○		フレッシュャーズセミナー	将来の目標は何か、そのためには何をすればいいのか、自分と向き合いながら授業を進めていきます。そして演習では、グループワークや発表を多く取り入れて、より実践的なスキル目指します。それにより、自主的に行動することや責任をもって自分の役割を果たす意を養います社会人として、自信をもってスタートを切れるように準備をしていきましょう。	2 後	15	1	○	△	
	○	F&B オペレーション I・II・III・IV	実際の現場での技術の習得を目的とする。前期終了時までには、実習に向けての最低限の技術（トレイ・皿持ち・備品の名前）を習得する事を目標に授業を進める。後期は、その他レストランや宴会のサービスをする上において、必要な技術の習得と2年次におけるHRS検定試験に向けての準備をする。2年次ではレストランの基本的なサービスを学び、将来の仕事に生かせる技術を習得する。サービスに必要な器具・器材の取り扱い方を学ぶ。またワイン・カクテルの知識やホテルでよく使われる用語など、接客を踏まえた知識・言葉を習得し、高度な接客能力を身に付ける。最終的に、HRS・レストランサービス技能士3級（国家資格）の取得の手助けになるように進める。	1 通 ・ 2 通	75	5	○	△	
	○	宿泊オペレーション I・II・III・IV	ホテルの宿泊部門（ハウスキーパー・ベル・ドア）の業務内容を基礎から学び、実技を中心にリアルな現場を再現しながら接客を学ぶ。実習に備え、前期は基礎知識と客室を中心で行い、後期はベル業務の実技を中心に取り組む。 ホテルの予約業務・フロント業務を中心に学習し、知識だけでなく電話予約の実技も取り入れていく。予約業務は計算問題も多いので、各自電卓を持参して使用する。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	
	○	HRS 検定対策 I・II・III	正式名称は「レストランサービス技能検定」、サービス関連では唯一の国家資格です。ホテル・レストラン業界を目指すためにはとても重要な資格であり、授業で得た情報は必ず役に立ちます。1年次は学科試験対策としてテキストの理解を深めてゆきます。在学中3級取得を目標に、卒業後の2級・1級資格へのキャリアアップを目指していきます。。2年次には、管理者としての知識を中心に学び、更に過去問題にも触れ、学科試験内容を十分理解できる科目として進める。	1 通 ・ 2 前	45	3	○	△	

			<p>【レストランサービス技能検定試験日程】 学科試験・・・2年次8月実施 実技試験・・・2年次11月実施（学科試験通過者のみ）</p>						
	○	セールス&マーケティング I・II・III・IV	<p>ホテル全体のセールスプロモーションを理解する為、必要なツール・広告・WEBの研究をする。1年次は婚礼関係を中心に研究する。 ホテルで扱う商品の企画の方法やイベントの組み方及び宿泊プランの作成等、営業・企画における知識を学び、独自のオリジナルプランを制作します。</p>	1通 ・ 2通	30	2	○	△	
	○	バーテンダー講座 I・II	<p>年間を通して、バーテンダーとして就業した際に必要な知識（酒類やカクテルの知識だけでなく、カウンター越しの接客を踏まえた知識修得）、技術（カクテルのメイキングだけでなく、実際に従事した際に必要な技術の習得）、心得え（接客に必要なバーでのマナーや、講師の実際に経験した実話などを盛り込む）などを修得させる。最終的に、すぐにバーに配属された場合の最低限必要なすべての項目を身に付けさせ、バーテンダーという職種に興味を持ってもらう。</p>	2通	30	2	○	△	
	○	ソムリエ講座	<p>ワインに興味を持つこと、ワインについて少しでも知識が広がること、ワインのことがいろいろなことに広がって、人生にうるおいを持たせることや健康にもよいこと等知らないことがわかり得たときの感動を、共感できたらと願いわかりやすい授業を心がけていきます。</p>	2後	15	1	△	○	

	○	ブライダルプランニング I・II	人前式、披露宴の進行の組立て方を学び、テーマウエディングやケースウエディングにもとづいた結婚式をプランニングします。また、その結婚式の実現性も学んでいきます。	1 前	30	2	○	△	
	○	実用英語検定対策3級	「英語検定3級」取得を目指します。合格のコツに重点を置きテスト慣れすることを目指します。単語、熟語、会話文を毎回のテストという形で引き続き学びます。3級合格のテクニックを自分のものにし、リスニングにも力を入れていきます。積極的に取り組む姿勢で学んで下さい。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	
	○	実用英語検定対策準2級	実用英語を身につける効果的な手段である英検準2級の合格を目指します。予想問題ドリルを中心に、頻出単語・熟語・文法・読解・会話表現を学習します。毎回リスニングの時間もとって、試験対策を進めていきます。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	
	○	TOEIC	目標：TOEIC 試験において500点以上を目指す。対策：リスニング：効果的なリスニングの方法を学び実践/ シャドーイングの要領・リーディング：語彙力、イディオムの増強、文法力の向上	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	○
	○	韓国語 I・II	「韓国・韓国語とはどういうものか」からはじめ、日本語の語順で韓国語を運用していくテクニックを習得する。「誰がどうする」「何がどうだ」を主題とし、簡単な単文の構造で、日常からビジネスまでの表現を、暗記にたよらず自分の考えを、この言葉で言えるような学習の展開をする。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	
	○	中国語 I・II	この授業では、まず中国語の基本ー発音（ピンイン）からスタートする。ピンインを反復練習することで、中国語の発音を身につけ、簡単な日常会話を学習する。授業	1 通 ・ 2 通	60	4	○	△	

			は「楽しい中国語」という主旨で、生徒の様子を見ながら授業を行う。会話で文法、単語を覚え、日中文化や生活習慣を比較しながら、中国語をより理解する。目標：1、ピンインがあれば、文章を読める 2、単語を使って簡単な表現ができる3、簡単な質問に答える（特に職場に使う言葉）						
		○	ビジネス能力検定3級対策	「ビジネス能力検定 3級」取得を目指します。新入社員として必要な基本的なビジネスマナー・知識を幅広く学習します。同時に、毎回過去の問題を抜粋し実際に問題を解くことで、テストに慣れてもらいます。検定合格のみにとどまらない、社会に役立つビジネスマナーを体得していきましょう。	1 後	15	1	○	△
		○	ビジネス能力検定2級対策	「ビジネス能力検定 2級」取得を目指します。社会人として必要なビジネスの知識とスキルを総合的に学習します。組織の理解、業務の具体的な遂行など、実践的な知識を学び即戦力となるように、3級とは違った深い内容です。新聞問題は読解力、ケース問題は、社会人3年目くらいを想定した仕事力が問われます。毎回、講義+問題で社会人力をつけていきましょう。	2 通	30	2	○	△
		○	秘書検定3級対策	秘書検定は、職務知識、一般知識、マナー知識などが必要とされます。また、これから社会人となるために必要な知識を身につけることにも役立ちます。このクラスでは、問題を解きながら自分自身を高めるべく社会常識を学び検定合格を目指します。	1 後	15	1	○	△
		○	秘書検定2級対策	秘書検定は、職務知識、一般知識、マナー知識などが必要とされます。また、これから社会人になるために必要な知識を身につけることにも役立ちます。このクラスでは、問題を解きながら自分自身を高めるべく社会常識を学び検定合格を目指します。	2 通	30	2	○	△
		○	漢字検定対策	漢検は就職活動にも役立ち、非常に注目され、また、人気のある資格試験の一つです。しかし、日頃から適切な準備をしないと合格に結びつきません。学生時代に身につけた日本語の力が「社会人力」の基礎となります。社会人として、すぐに役立つ漢検資格取得に向け、半年間の授業で準備をします。漢字を学ぶ楽しさ、面白さを味わいながら、漢字力を身につけ、日本語力の向上を目指します。具体的には、日本漢字能力	1 後 ・ 2 通	30	2	○	△

			検定3級・準2級・2級の合格が目標です。授業は、参加型・実習重視で毎回、漢字テスト・演習プリントに取り組みます。						
		○	漢字検定対策	漢検は就職活動にも役立ち、非常に注目され、また人気のある資格試験の一つです。しかし、日頃から適切な準備をしないと合格に結びつきません。学生時代に身に着けた日本語の力が「社会人力」の基礎となります。社会人として、すぐに役立つ漢検資格取得に向け、半年間の授業で準備をします。漢字を学ぶ楽しさ、面白さを味わいながら、漢字力を身につけ、日本語力の向上を目指します。具体的には、日本漢字能力検定3級・準2級・2級の合格が目標です。授業は、参加型・実習重視で毎回、漢字テスト・演習プリントに取り組みます。	1 後	15	1	○	△
○			コミュニケーション	個人、クラスの具体的なアクションプランを作成し実行していく。個々のスキル、目標達成のためのPDCAサイクルの実践を主とする。	1 通 ・ 2 通	60	4	○	
○			実習	観光業界（ホテル、ブライダル、旅行会社、鉄道、空港等）の実務の現場で、実地体験を積み重ねる中で、業務内容のより一層の理解と体得をふまえ、将来の職業モラルの育成を図っていくという目的で全学生に対し企業実習を義務付けております。	1 通 ・ 2 通	896	64		○
合計					28 科目	1,811 時間 (124 単位)			